

# アジア室通信

第35号

## CONTENTS



【台湾高雄市 85ビル】



【高雄市の原宿竹下通りといわれる新堀江市場】

### 1. 上海駐在員事務所便り

- ・みなと上海セミナー・懇親会
- ・タクシー配車アプリ

…上海駐在員事務所長 河村 真二

…上海駐在員事務所スタッフ 劉 雁

### 2. ～各国比較で見えてくるベトナム～

…フェアコンサルティングベトナム（ホーチミンオフィス） マネージャー 伊東 秀治

### 3. 最近のアジアニュース

### 4. アジア各国外国為替・株式・金利相場

みなと銀行営業企画部アジア室

1. 本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。2. 著作権 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ、本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。3. 免責 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡無しに変更されることもあります。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。また、本稿の中で、意見にわたる部分は、筆者の個人的意見であり、筆者の所属する組織の見解を代表するものではありません。

# 上海駐在員事務所便り

## 「みなと上海セミナー・懇親会」

(上海駐在員事務所長 河村 真二 記)

先日、インターネット新聞を読んでいると兵庫県加古川市内の測定所でPM2.5の濃度が「81」マイクログラムに達し、播磨東部に注意喚起が出たというニュースを見つけました。

中国に住んでいる駐在員から見れば僅か「81」の数値でニュースになることに対し驚きます。昨日、当事務所のスタッフが「今日は良い天気ですね」と窓から外を眺めていました。スマホのアプリでPM2.5の数値を検索すると「81」で、当地では「81」だと、きれいな方だと思います。「100」「200」は当たり前、ひどい場合には「500」を超える時もあります。さすがに、「500」を越えると数十メートル先でもかすんでおり、嫌な臭いもします。

大気汚染が日常的になり、当地の方は大気汚染を皮肉るブラックジョークを言っています。たとえば「犬の散歩をしても、大気がかすみ、犬の姿が見えない」とか、お金持ちの方は「旅行でスイスに行った時、飛行機を降りて新鮮な空気を吸った途端、頭がクラクラして倒れ、直ぐに、救急車で病院に運ばれた。医者が自動車の排ガスを混ぜた空気を処方し、それを吸ってやっと回復した」など話し合っています。中国政府も努力しているようですが、大気汚染はなかなか改善されていません。当地では日本ブランドの空気清浄機が飛ぶように売れ、技術を持つ日本にとってこのような環境問題はビジネスチャンスかもしれません。環境ビジネスのみならず医療ビジネスなど、最新の技術を持つ日本の進出が期待されています。

さて、3月19日(水)に「みなと上海セミナー懇親会」を開催しお取引先様、約50名がご出席されました。今回のセミナーテーマは「中国会計税務と資金繰りの注意点」で、税理士法人森田会計事務所の現地法人(上海 M-TAC 企業諮詢有限公司)/富永総経理に講演をして頂きました。よく、お取引先様から当事務所に寄せられる悩みやご質問のテーマでもあります。とても興味深い講演内容でしたので、



【セミナーの様子】

ここでご紹介します。日中間での税収の比較で、日本は消費税など物の取引で発生する税金が全税収の約26%に対して中国では約54%。また、日本は所得税や法人税など利益所得に対する税金が全税収の約51%、中国は約25%です。中国は儲け(所得)に対する税収をあてにしないという考え方が

らこのような税体系になっているそうです。

中国だけではないそうですが、このような税体系は「途上国型」というそうです。日本が性善説に基づいた事実主義であれば、中国は性悪説に基づいた証拠主義と解説をされていました。そういえば地下鉄の自動改札機も同じことが言えるかも知れませんね。日本の自動改札口はいつも開いており、料金不足など、なにか問題があれば、閉じますよね。こちらの自動改札機はいつも閉じていて、有効な切符を



【地下鉄改札出口の様子】

通すと開くようになっています。このような自動改札機なので、ラッシュ時はいつも自動改札機の前で混雑をしています。

その他、講演内容は資金繰りの注意点についての説明などがあり、現地法人の責任者や経理担当者からは、参考になったと感想を述べられていました。

セミナー後は、懇親会場にてお取引先様間で活発なビジネス交流がされていました。

## 「タクシー配車アプリ」

(上海駐在員事務所スタッフ 劉 雁 記)

上海での雨の日や通勤ラッシュ時にすぐさまタクシーをつかまえるのは至難の業です。2,400万人の巨大人口に対して、タクシーは約5万台しかありません(上海と比べ人口が半分、面積が3分の1の東京都で約5万台)。タクシー不足で、拾うことは困難でした。そこで登場したのがスマホを使った配車サービスです。昨年より、この新しい方法が流行しています。スマホの配車アプリを使い、タクシーへピックアップ依頼ができ、運賃支払もスマホで行えます。

上海の配車アプリは、「快的打車(コウアイ・ディ・ダ・ツェ)」と「滴滴打車(ディ・ディ・ダ・ツェ)」が二大勢力。それぞれ国内IT業界の巨頭、阿里巴巴(アリババ)と騰訊(テンセント)が投資し、激しいシェア争いをしています。阿里巴巴は、決済システム・「支付宝」(Alipay)をもち、騰訊では「微信支付」(Wechat Payments)を持っています。両社とも運賃支払を決済システムに誘導することを狙い、タクシー運転手と乗客に対して1回あたり、10元(約170円)のキャッシュバックを行うキャンペーンを展開しました。両社の競り合いで、補助金は一時期13元に達したこともあります。初乗り料金14元の利用でしたら、乗客の支払は1元だけで、相当お得です。今年の3月からは、補助金が13元から12元、10元、8元、6元と徐々に下がり続け、今は5元で落ち着いている様子です。

この配車アプリの登場は、タクシー業界に変化をもたらしたようです。乗客はタクシー会社のコールセンターを通さずに、アプリで自分の現在地と目的地を周囲のタクシーに発信、この情報を最も速くキャッチした運転手が迎えに来てくれます。ラッシュの時は、乗客が追加料金(運賃以外のチップを払う)を設定するこ



【スマホのタクシー配車アプリ】

とにより、タクシーを拾える可能性を高めることが出来ます。一方、運転手にとっても、あてもなく空車で走り回ることが減り、稼働率が上がり、収入が増え、メリットが大きいのです。乗客と運転手双方のニーズを満たす為、昨年来、配車アプリは大ヒット。

しかし、配車アプリの人気上昇につれて、様々な問題も発生。運転手は運転中に、アプリの呼び出し音を聞いたり、オーダーを速くキャッチしようとしたり、地図を見たりするなど、安全運転に支障が出ています。また、「空車」ランプを点灯しているタクシーが、配車アプリからのオーダーを受けたため、街中でタクシーを拾おうとする乗客に対する乗車拒否現象も増えているようです。

これらの問題に対して、上海市交通運輸港局は2月26日、「タクシー運営サービス管理に関する措置を強化」する旨の通達を急遽発表しました。措置はラッシュ時の運転手のアプリ利用禁止のほかに、乗客を乗せている間のスマホ使用禁止、乗車拒否の禁止なども含んでおり、3月1日から実施されています。

配車アプリのような新しい方法は、私たちの生活を便利にしてくれますが、お年寄りや外国人など、スマホを使いこなせない人と使える人の差は広がるばかりです。より多くの人々が平等に使いこなせるよう、もっと工夫してほしいと私は願っています。



## ～各国比較で見えてくるベトナム～

フェアコンサルティングベトナム(ホーチミンオフィス) マネージャー 伊東 秀治

チャイナ・プラス・ワンが叫ばれて久しい。中国の事業リスクを回避するために、東南アジアに足場を築く日系企業も数多く存在する。そのような動きの中で中国の南に位置し、国境を接するベトナムに対する関心は、一昔前の熱狂はないものの、未だに日系企業の関心の高い進出先候補国である点に変わりはない。

2013年11月、国際協力銀行が発表した日系製造業を対象にしたアンケート結果では、中期的な有望国・地域としてベトナムは前年同様に世界第5位を占めている。とりわけ、中堅・中小企業のアンケート結果のみでは、ベトナムは順位を上げて第4位に入っている。大企業より、中堅・中小企業にとっての方が、ベトナムは魅力的に映るらしい。

ベトナム在住の著者も、中堅・中小企業のベトナム進出の旺盛さを肌身で感じている。筆者は以前、中南米3カ国で合計7年半を過ごした経験がある。その間、中南米で出会った日本人企業関係者の大半は、それまで聞いたことのある上場あるいは有名企業の方々であった。しかし、このベトナムで名刺交換する日本人が勤務する企業の90%は初めて聞く企業名であった。それだけ日系中堅・中小企業が多い証と言える。そして、著者が所属する会社も、中堅・中小企業の一つである。

では、進出先としてのベトナムは、ビジネスのしやすい国なのであろうか。入手可能なデータから分析してみよう。

表1をご覧ください。

これは、世界銀行が作成した資料「Doing Business 2014」からの抜粋である。この資料は、毎年、世界の各国・地域(189カ国)のビジネス環境を比較して、様々な項目についてランキングを付けるものである。その中から、筆者が「ビジネスの始めやすさ」の指標を抽出して、

東南アジア主要国でランキングを付け直したものである。トップに君臨するのはシンガポール、次いでマレーシア、タイが続き、ベトナムは8カ国の中で第4位である。ビジネスのしやすさの点では、近隣の東南アジア諸国と比較し、中の上といえよう。人口8,970万人を抱えるベトナムは、東南アジアで人口の多いフィリピン(人口約9,400万人)やインドネシア(人口約2億3,800万人)より高順位である。

但し、ベトナム在住の実感を申し上げれば、同国においてビジネス開始まで34日かかるという数字は実態とかなり乖離があり、実際はもっと時間がかかっているような気がする。



【ホーチミン市中心の遠景】

表1 東南アジア主要国におけるビジネスの始めやすさ(法人設立のしやすさ)

	シンガ ポール	マレー シア	タイ	ベト ナム	フィリ ピン	インドネ シア	カンボ ジア	ミャンマ ー
ランキング	1	2	3	4	5	6	7	8
手続き段階(回)	3	3	4	10	15	10	11	11
時間(日)	2.5	6	27.5	34	35	48	104	72

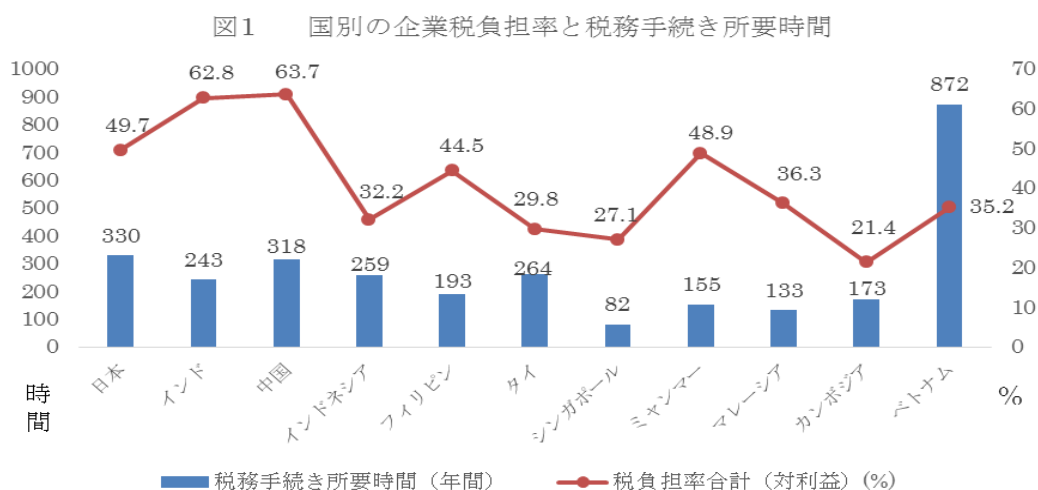
<出所>Doing Business 2014, The World Bank, IFC

今後、消費市場への投資を企画している企業にとって、人口の多い東南アジア3カ国のうち、ビジネスのしやすさの点ではベトナムが他を一歩リードしていると言えよう。

では、ベトナムでのビジネス開始後、企業はどのようになるのであろうか。ベトナムに進出した企業の悩みの種の一つは、税金である。税金関係の手続きが非常に面倒なのである。それを裏付けるデータが存在する。

図1を見ていただきたい。

上述の世界銀行の資料から税金の項目を抜出して、グラフ化したものである。



<出所>Doing Business 2014, The World Bank, IFC

ベトナムの税務手続きの所要時間が、他国に比し、極端に長くなっている。872時間である。図1で、ベトナムに次いで長いのが日本の330時間で、ベトナムの所要時間は日本の約2.6倍になっている。東南アジアでベトナムに次いで長いタイは264時間で、ベトナムの約30%の時間で税務手続きが完了する。最も短いシンガポールは82時間で、ベトナムはシンガポールの10倍強の時間がかかることとなる。

税務手続は企業進出後の事業活動の足かせになっており、日系企業の間接業務を増加させる。この問題に対処するため、現地会計事務所に税務および会計を頼る企業も多く、その状況を受けて日系会計事務所も数多く活動している。

ベトナムの税務手続きが企業の負担になっていることは、上述のグラフで容易に想像できる。では、ベトナムのどこに惹かれて、企業は進出先としてベトナムを選んだのであろうか。

冒頭のアンケートによれば、ベトナムを中期的な有望国と考えている理由の第1位は、「現地マ

マーケットの今後の成長性」、次いで「安価な労働力」「優秀な人材」と続き、第5位は「政治・経済情勢が安定している」となっている。

中期的な有望国・地域の上位10カ国のうち、その理由として、「優秀な人材」および「政治・経済情勢が安定している」という項目を挙げている国はほとんど存在しない。換言すれば、「優秀な人材」および「政治・経済情勢が安定している」ことは、他国にない、投資先としてのベトナムの魅力的な特徴となっている。

インフラ整備の遅れや法制の運用の不透明さ等、負の面もちろん存在する。それらを勘案しても、企業にとって魅力的な投資先の一つである点は変わらない。近い将来の海外進出を考えている企業は、自社の進出先候補地の一つとしては、ベトナムを考えておくべきであろう。

### <筆者プロフィール>

氏名:伊東 秀治(Hideharu Ito)

会社:フェアコンサルティングベトナム(ホーチミンオフィス)

役職:マネージャー

略歴:日本国公認会計士。大学卒業後、中南米(グアテマラ、メキシコ及びコロンビア)において7年半を過ごす。

日本外務省専門調査員としてコロンビアの日本大使館において政務担当を務め、コロンビアの内政及び外交に関する情報収集及び分析を行う。

日本に帰国後、公認会計士試験に合格し、有限責任あずさ監査法人東京事務所において製造業、ホテル業、流通業など多様な業種の法定監査等に従事。その後、アドバイザー部門に移籍し、上場及び非上場企業のM&Aデューデリジェンス、債務超過企業等の事業再生支援業務やビジネスデューデリジェンス、上場企業の不正調査業務等に従事する。現在は今までの経験を活かし、ベトナムにて質の高いコンサルティングサービスを提供している。



### <会社概要> ※ フェアコンサルティンググループ

大手会計事務所出身の公認会計士・税理士、国税当局出身の税理士ならではの高度な専門知識、および実務経験に基づくきめ細かい情報・ノウハウの提供やアドバイスを行うコンサルティング会社。大阪・東京・香港・上海・ベトナム・シンガポール・インド・台湾・インドネシア・タイにはグループ会社を、その他の主要国には高いクオリティを有するアライアンスパートナーを配置。

大阪事務所: 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番25号ハービス OSAKA オフィスタワー12F

TEL: 06-6451-9201 担当:原井

E-mail: ta.harai@faircongrp.com

HP: <http://www.faircongrp.com/>

## 最近のアジアニュース

### ( 中国 )

#### 全人代、7.5%の成長目標、環境対策の強化、腐敗撲滅の取り組みを強調

3月5日から13日まで北京で開かれていた全国人民代表大会(略称:全人代、日本の国会に相当する)は、今年の経済成長率目標を去年と同じ7.5%に設定することなどを盛り込んだ政府活動報告や2014年の予算案を承認し、閉会した。

李克強首相は政府活動報告の中で、経済成長とともに深刻化する環境問題の改善や腐敗撲滅に取り組む姿勢を強調し、投票総数の99%超の賛成票を集め、採択された。

#### 上海、天津などで民間銀行試行プラン開始へ

3月11日、中国銀行業監督管理委員会(銀监会、CBRC)の尚福林委員長は、国务院の承認で、銀行セクターに民間資本を呼び込むために、民間資本が保有する銀行の試行プランを上海、天津、浙江、広東で開始すると明らかにした。

試行プランの制定に参加した10社には、電子商取引大手のアリババ・グループや騰訊(テンセント)等が含まれている。民間資本が保有する銀行5行が第1陣として承認されるとしたが、銀行名は明らかにされていない。

### ( 韓国 )

#### 景気回復傾向、2月就業者数83.5万人増

韓国統計庁が発表した2月の雇用動向によると、就業者数が前年同月に比べて83.5万人増え、2002年3月(84.2万人)以来最大の増加幅だった。雇用率(15-64歳)も前年同月(62.7%)より高い64.4%で、政府の雇用目標の70%には及ばなかったものの、青年層(15-29歳)の就業者数は14.8万人増で、2000年8月(18.4万人増)以来14年ぶりの増加幅を示した。政府は景気が改善し、雇用も増えたと評価した。

### ( シンガポール )

#### 世界各国からビール400種超が集結「Beerfest」、6月に開催発表

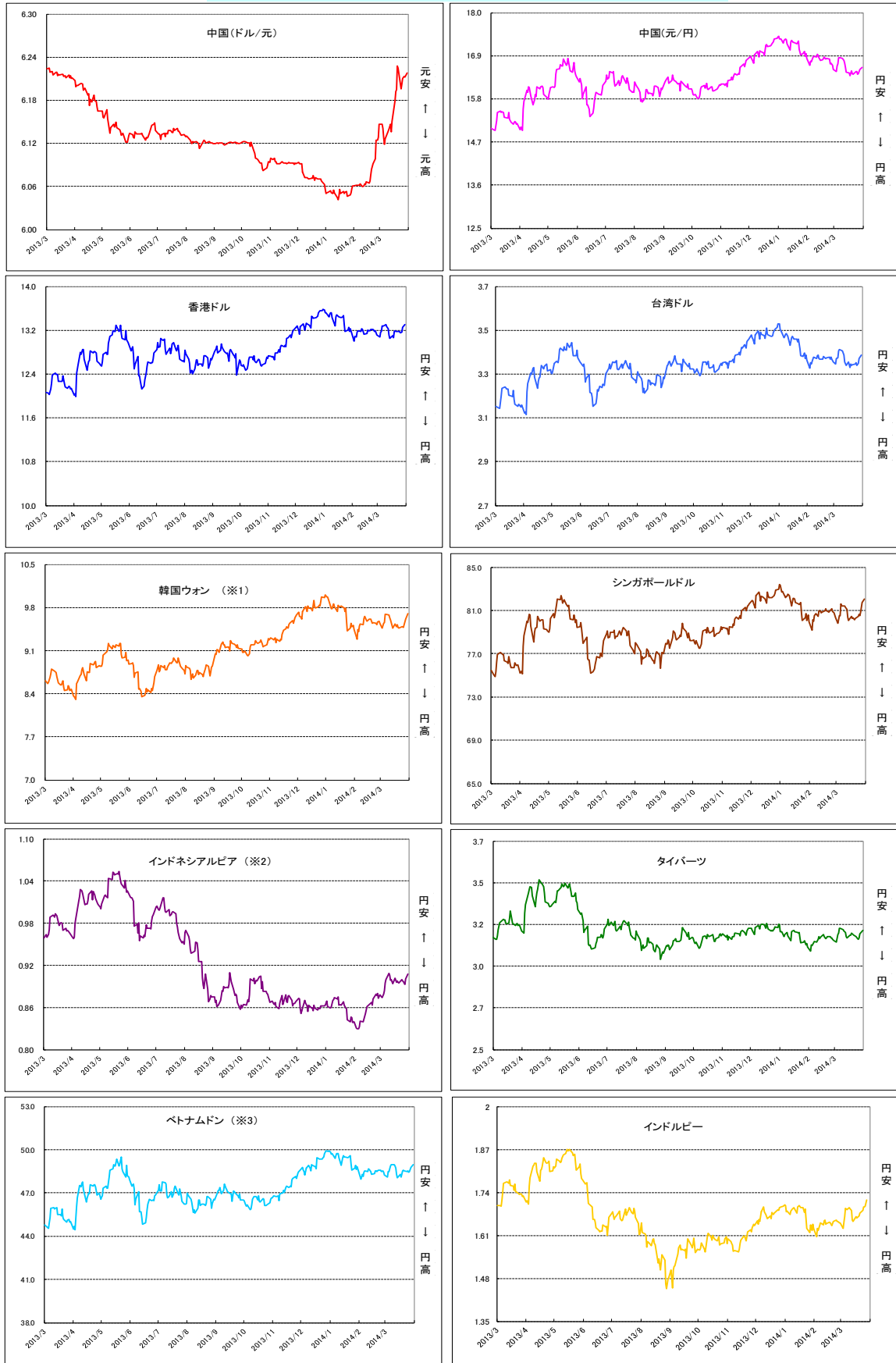
シンガポール最大級のビールフェスティバル「Beerfest」を6月12~15日に開催すると発表された。同フェスティバルは6年前から始まり、毎年規模が拡大し、去年は3万人以上を動員した。

世界各国から集めた400種類以上のビールと各国のバンドによるライブ演奏を楽しむほか、コメディショーやビールのワークショップ、トークショー、オークションなども開かれる。

1日パス(20シンガポールドル、約1,600円)のほか、4日間パス、8時間の飲み放題のVIPパッケージなどが用意され、すべてのチケットにウエルカムビールが付く。



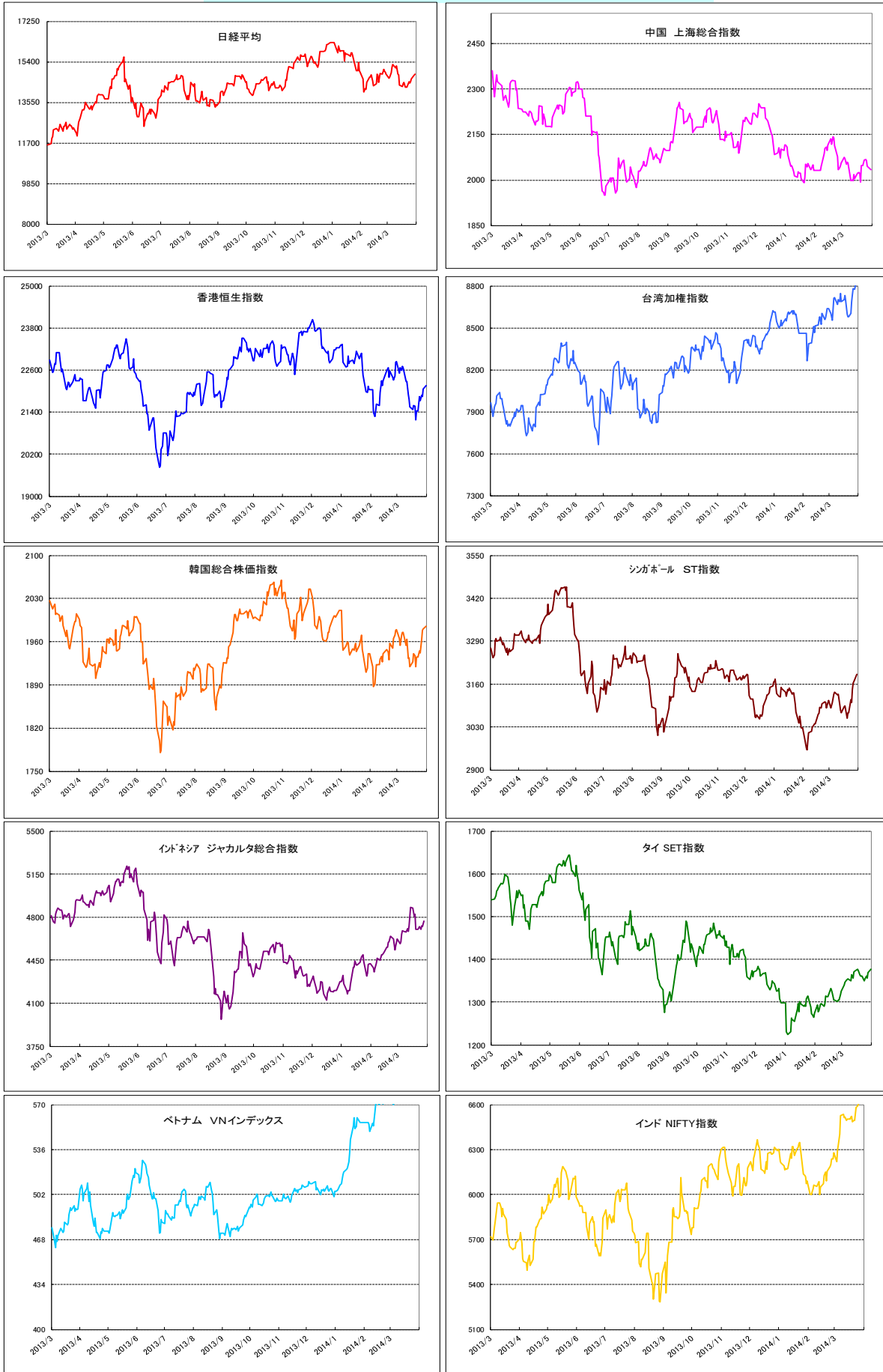
## アジア各国外国為替相場



DATA SOURCE : Bloomberg

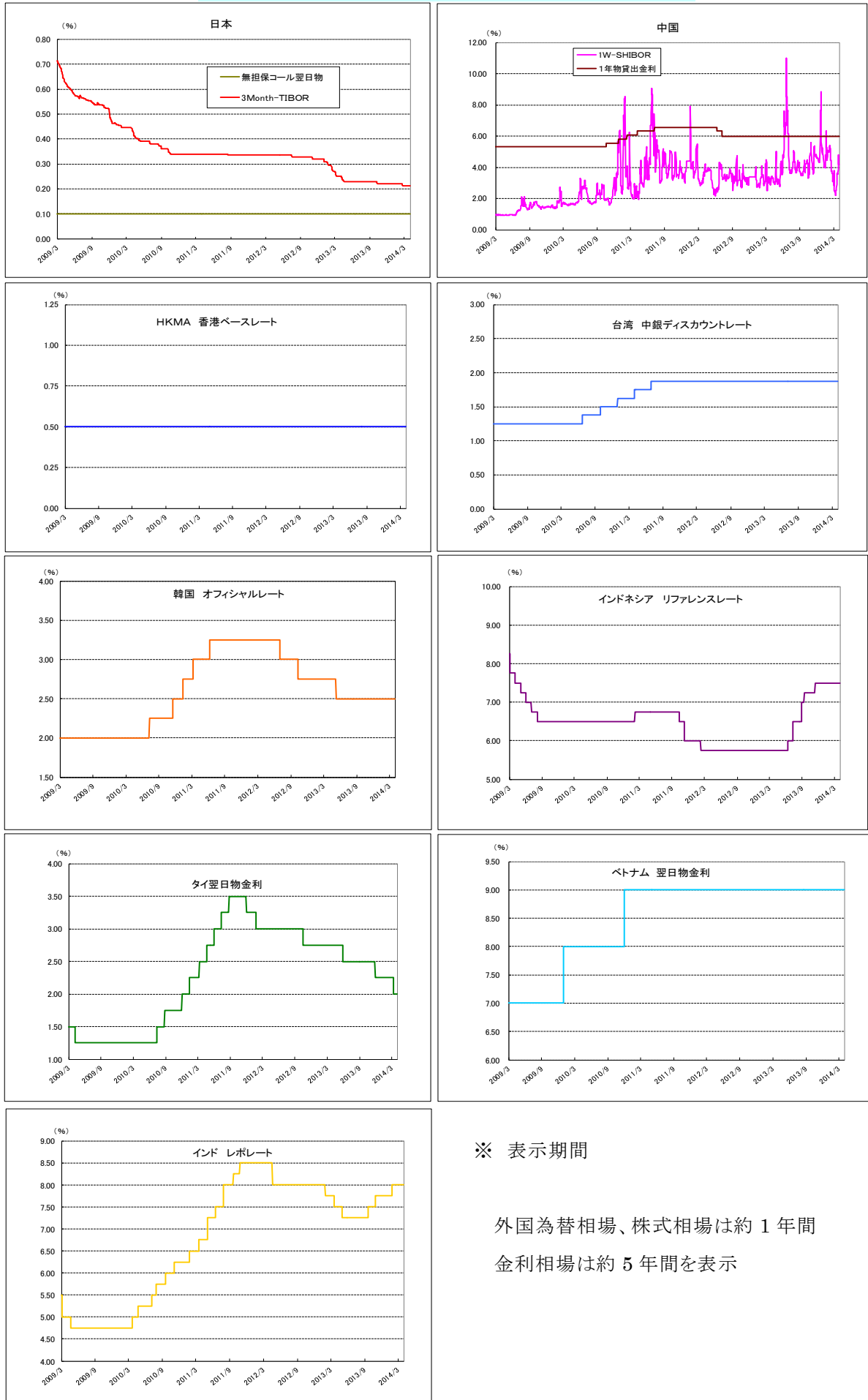
- ※ 1 韓国ウォンは 100 通貨あたりの相場
- ※ 2 インドネシアルピアは 100 通貨あたりの相場
- ※ 3 ベトナムドンは 10000 通貨あたりの相場

## アジア各国株式相場



DATA SOURCE : Bloomberg

# アジア各国政策金利等



※ 表示期間

外国為替相場、株式相場は約 1 年間  
金利相場は約 5 年間を表示

DATA SOURCE : Bloomberg